

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 11月 1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492100031		
法人名	口和福祉会		
事業所名	グループホーム口和		
所在地	庄原市口和町永田413番地 (電話) 0824-89-2700		
自己評価作成日	令和4年10月7日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3492100031-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年10月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>新型コロナウイルスの影響で様々な制限がある中で、入居者様の安全と健康を守りながら楽しく生活できるように、工夫をしながら毎日取り組んでいます。ここで暮らせて良かったと思ってもらえる居場所になれるように職員一同力を合わせて頑張っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>コロナ禍で、小学校や中学校との交流が一時途絶えたが、リモートにより小学校とは「花田植え」の披露や折り紙、中学校とはレクリエーションや手品を通じた交流ができるようになっていく。地域の集会所でのサロンや商店での認知症学習会、認知症サポーター養成講座への講師派遣など市の取り組みと連携しながら地域の認知症への理解に貢献している。個別のケアを大切にしており、「24時間シート」という独自のアセスメント用紙を活用し、利用直後の3日間の様子、計画変更時の3日間の様子を細かく記録分析し、介護計画やケア方法に活かしている。居室および共有空間も広く、中庭を配置し採光にも配慮している。施設周辺は車の往来も少なく、利用者は毎日散歩を楽しみ、田んぼの様子や牛の飼われている様子、畑や山々の様子など日々季節の変化を感じながら生活している。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	口和福祉会の理念は「小さな気遣いが大きな安心へ」です。理念を基に年間目標「笑顔で明るく楽しい今日を創る」と立てました。毎日安心して笑顔で過ごして頂けるよう、小さな気づきや変化を気づきノート等で共有し、お一人おひとりの気持ちになってケア方法を職員皆で考え、実践しています。	玄関の大きな看板に法人理念とグループホームの目標を掲示し、日々確認するとともに、「気づきノート」を通じて共有、実践できているか確認している。広報誌やパンフレットにも理念を掲載し周知を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎年小中学校と交流会をしていましたが、新型コロナウイルスの影響により対面での交流が困難となりました。しかし何とか交流ができないか検討していたところ、オンラインでの交流会を実施できるようになりました。また、毎日の散歩を通じて地域の方々と顔なじみの関係を築いています。	小学校とは「花田植え」の披露や折り紙、中学校とはレクリエーションや手品、楽器演奏をオンラインを通じて交流している。保育園とは敬老会に来たお礼として折り紙の工作物を届けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域のサロンや認知症サポーター養成講座を通じて地域の方々に認知症の理解や支援の方法をともに学んでいます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりお便りで入居者様の様子を報告しています。	コロナ禍で文書の送付による開催となっている。議事次第に沿った事業報告が行われているが、意見について聴取した記録はない。	写真や広報物など書類を工夫し意見聴取に努めるとともに、収束後は地域包括支援センターや自治会、民生委員、利用者、利用者家族の参加する運営推進会議を開催するとともに、利用者家族とのコミュニケーションの充実を期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	月1回開催される地域ケア会議に出席して情報交換や関係機関との連携に努めています。	市に協力して認知症サポーター養成講座の講師派遣をしたり、地域包括支援センターが開催する地域ケア会議に参加、要介護認定更新時に支所へ手続きに出向いたり日常的に市と連携している。市の開催する研修会への参加、施設の研修会に市の専門職の派遣依頼をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束について研修を通じて知識を深め身体拘束防止に努めています。施錠については夜間のみ安全面を考慮し玄関の施錠をしています。</p>	<p>身体拘束・虐待予防指針を定めて、身体拘束・虐待予防委員会を3か月に1度開催している。研修は年2回行っている。転倒防止・行動把握を目的としたセンサーマットの活用はある。日中は玄関の施錠はしていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部研修に参加したり内部研修で虐待に該当する色々なケースを学んでいる。ケアが上手くいかない時の職員間のフォロー体制を整えている。個人面談を行いストレスを抱えないよう配慮しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>関係機関と連携を取りスムーズに安心して利用して頂けるよう支援しています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>分かりやすい言葉で説明をし、不安な点や疑問などを尋ね安心して納得して頂けるよう丁寧な説明を心がけています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者及びご家族からの意見や要望についてはその都度伺っています。またその内容について情報共有できるように連絡ノートに記入しています。</p>	<p>通院結果や薬の変更、衣替えなどの機会をとらえて電話をし、様子を伝えるとともに意見をもらっている。内容は「気づきノート」に記録し職員で共有している。誕生月には、行事メニューの提案を利用者から受けて反映している。玄関先に意見箱を設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>それぞれの職員とコミュニケーションをとり職員の意見を取りまとめ運営に反映できるように取り組んでいます。</p>	<p>職員会議を月に1回開催し、利用者の様子、ケアの方法、身体拘束をしていないことの確認、転倒予防、月間行事、介護計画の変更提案を受けて運営に反映している。管理者による年1回のアンケートと面談、産業カウンセラーのストレスチェックを行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人全体で就業規則など見直し今年3月に時間外勤務の変更や年休を取りやすい環境作りを行い職員が気持ちにゆとりをもって働ける環境を整備しています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の個々の能力を十分に伸ばせるように、業務を通じてまた研修に受講して職員育成に取り組んでいます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>庄原市グループホーム連絡協議会が実施する研修会に参加しています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前の面談で不安な事や要望等をお聞きする機会を持ち安心して頂けるよう努めている。入居後も24時間シート作成など全職員で本人様が安心して生活できるように援助しております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前にホームの見学や面談を行い、ご家族の困りごとや心配事、ご本人への思いや要望等を聞かせて頂き納得して安心してもらえるよう心がけ努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>サービス利用前のそれぞれの面談でのニーズから必要な支援を明確にし、他のサービスが必要な時は利用出来るよう対応しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員はご本人の想いを大切にして、住みやすい暮らしやすい環境やお一人お一人の役割を考えながら、日々の日常を楽しく共に送りながら関係を築いています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人の要望を御家族へ手紙や電話で直接伝え、協力して頂ける事はお願いして対応してもらい、難しい事は職員でフォローして共に支えています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>他施設入所の家族への面会、かかりつけ医の継続受診、友人との手紙のやり取り、地元のイベントに参加してもらい繋がりを大切にしています。</p>	<p>併設の施設やグループホームの利用者は、地域の知り合いの方が多く、相互の交流の支援を行っている。馴染みの医師との関係の継続や墓参りを通じた実家への訪問などの支援を行っている。手紙の投函や電話の取り次ぎなどの支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	人間関係に配慮した席の配置や入浴の順番や散歩のグループ、利用者の得意な事を活かして協力したり助け合えるようにレクや役割を職員が間に入って一緒に行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	関連施設に入所された方へ面会したり、ご家族からの相談があれば応じたり情報提供をしたりしています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的に行う24時間シート作成を行いながらひとりひとりの思いや気持ちを把握してその人が安心して生活ができるように取り組んでいます。	利用開始時や介護計画変更時に行う「24時間シート」を活用し3日間の様子をアセスメントすることで、思いや意向、排泄パターン、夜間の様子を把握している。利用開始時には、生活歴を含む確認をしているが、実家を訪問した際に改めて思いや意向を把握できた事例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前の面談時に色々質問して聞かせて頂き、入所後もご本人との会話の中や面会時にご家族や親戚の方からお聞きして情報収集しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	独自の24時間シートを活用して1日の生活の様子を把握し、作業や散歩を一緒にしながら状態観察しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族、本人から聞き取りや職員からの気づきを反映し独自の24時間シートを活用して介護計画書を作成しています。</p>	<p>モニタリングの期間は、計画の変更時更新時に行う「24時間シート」のアセスメントと介護記録に基づき、職員会議を通じて実施している。介護記録と「気づきノート」から介護計画の変更が必要な場合にモニタリングを実施し介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日個別ケース記録にその日のご本人の様子を記録しています。特記事項は日誌や気づきノートに記入して引き継ぎ時に情報共有しています。ケアの改善やプランの見直しに役立てています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人やご家族からのニーズにはその都度職員で話し合い臨機応変な対応をしています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のイベントや学校行事、散歩、買い物、通院など地域資源を活用して地域の方々との繋がりの中で暮らしを楽しめるよう支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人とご家族の希望されるかかりつけ医と連携して支援しています。</p>	<p>顔なじみの医師との関係を大切にし、通院支援を職員が行っている。歯科も内科も車いすで行ける距離にあり、職員の支援にて受診している。認知症専門医の受診も2か月に一度、遠方ではあるが職員が受診支援を行い、家族の希望により現地病院で会い、同行している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	関連施設の看護師と連携して相談しながら支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医師や看護師と入院時に必要な情報提供をしたり、利用者の状態を聞いて相談しています。退院時はソーシャルワーカーと連携を取っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	グループホーム口和では看取りを行っていないことを契約時にお話して、生活をしていく中で重度化した場合は本人、家族、主治医と併設施設で本人の現状にあった生活環境を提供できるように取り組んでいます。	重度化、看取りについてはグループホームでは実施できないことを説明し、併設のショートステイの活用や介護医療院等の紹介など適切に対応している。年に1人程度、重度化により併設施設の利用や入院となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修を実施し看護師による講習会を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得て火災避難訓練を年2回実施しています。水害については3年前に施設隣を流れる川があふれ施設敷地内に流れ込む被害があった。今年3月に施設周辺を流入防止の為にコンクリート補強工事を行っています。避難場所については町、施設と協力とし町全体の課題として協議しています。	洪水の警戒地域に立地しており、消防からは敷地内にあるケアハウスの3階へ垂直非難が推奨されている。備蓄は法人として行っている。年に2回避難訓練を行い、その内1回は夜間を想定して実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人おひとりの性格や認知症の症状を理解し、その方に合った声掛け、見守りを行っています。	人権尊重や虐待防止の研修会を市の職員を招いて行うなど研修の強化を図っている。介護福祉士の協力のもとで排泄、入浴場面における人格と羞恥心に配慮したケア研修を企画している。個人情報使用同意書により使用範囲を明確に定めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	お一人おひとりの思いに寄り添えるようゆっくり話ができるように心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お一人おひとりの日常を大切に出来るよう、好きな事、苦しい事等を把握し、無理強いほしくない支援を心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類はご本人が好きな服が着れるよう一緒に選び着て頂いています。居室から出て来られる際には、必ず整容を行うようにしています。又、散髪してもらった時もご本人の好みに合うよう、要望をお聞きし、カットのお願いをしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	外部注文での食事提供となりました。盛り付けや配膳を手伝って頂きます。料理に彩りが必要な時は添え物を工夫し提供しています。月に一回手作り食を企画します。	7月から併設施設の給食設備を使用することとなったが、月に一度は手作りの昼食を実施している。また、いただいた野菜(レタス・きゅうり)、畑で育てた茄子を一品添えたり、バーベキューや行事食など食事を楽しむ工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日に必要な水分摂取量を個人の体重からわりだし目安にしています。水分摂取量が少ない方へは、少量ずつ好みの飲み物を準備し提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを実施し、見守り声かけを行っています。自菌や、義歯を確認し、必要な時は歯科医に相談し早めの受診を行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>24時間シートを使用し個々の排泄パターンを把握しています。お一人ひとりに合った支援を行っています。又、必要時主治医に相談しています。</p>	<p>利用者全員尿意があり、声掛けによりトイレにて排尿排便をしている。排便コントロールが必要な方には、主治医に相談しながら対応している。「24時間シート」により個々の排泄パターンを把握している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>お一人ひとりの体力を考慮した運動や水分量の確保を行っています。又、主治医へも相談しています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望者には毎日入浴を実施しています。お一人ひとりの状態に合わせた入浴介助を行っています。</p>	<p>2日に1度は入浴をし、希望者は毎日入浴を楽しんでいる。入浴剤を入れたり、ゆず湯、しょうぶ湯で楽しんでもらっている。しもやけの方には毎日足浴をするなど、保清や健康の促進、皮膚状態の確認を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>昼寝の時間や、居室で自由に過 ごして頂ける時間を作っています。 少しでも安眠に繋がるよう自宅 でお使いになっていた寝具を使 用しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>主治医より薬の追加や変更等で 薬の処方があった場合、主治医 や、薬剤師からの薬についての 情報を気づきノートを使用し共 有しています。服薬確認は飲み 忘れが無いよう、二重確認を行 っています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>お一人ひとりの意欲や体力に合 わせ、掃除、洗濯物干し等、役 割を持って頂けるよう支援して います。季節行事や誕生日会、 喫茶会等、楽しんで頂ける事 を企画し行っています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>毎日の散歩コースは、本人の希 望に沿って行っています。又、 ドライブ行事を企画し実施して います。</p>	<p>その日の状態により車いすが必 要となる方が1名いるが、利用 者全員近くのみならず、毎日 散歩をしている。花見や紅葉狩 り、墓参りと実家訪問などの 外出の支援をしている。実家 訪問時は、利用者と家族の関 係を深める大切な時間となっ ている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>トラブル回避の為、原則お金の 持ち込みは禁止しています。欲 しい物や必要な物はご家族へ 連絡し購入してもらっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族や友人との手紙のやり取り支援や、電話やビデオ通話(リモート面会)が出来るよう支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有場所は表示し分かりやすいようにしています。 温度、湿度計を設置し過ごしやすいよう室温管理をしています。 季節を感じる事が出来るよう、季節の花を飾ったり、四季折々、壁画を作成しています。</p>	<p>共有空間は、十分な広さがあり、快適な環境にある。中庭があり採光も十分に明るい状態である。トイレは3箇所です。個々の排泄時に対応できる。職員が時に応じた生花を持参し居室や食堂に飾っている。利用者が作成した季節の壁画を掲示してある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>廊下に椅子やソファを置き、いつでも利用してもらえようとしています。 人間関係に配慮して会話しやすい方と席が同じになるよう配慮しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使っておられた寝具や家具、テレビ、時計等を使って頂いています。</p>	<p>出来るだけ自宅で使っていた日用品や服などを持ち込むように促し、化粧品や鏡、櫛、家族写真やカレンダーの持ち込みが多い。テレビや家具、置時計やアルバムの持ち込みもある。ベッドは備え付けであるが、希望や状態により配置を工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>場所や使い方が分かるように表示しました。 洗濯物が安全に出せるように必要な方へは、洗濯物用バケツを居室に設置しました。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム口和

作成日 R4年11月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍で文章の送付による開催となっている。事業報告は行っているが、意見についての聴取について記録は無い。	運営推進会議を通じて、地域関係機関や、利用者、利用者家族の意見等を聴取できるようになる。	写真や広報物などで生活の様子が分かるよう工夫をする。また、アンケート実施やご意見欄を記載し、地域関係機関や、ご家族からの意見を頂けるようにする。	6ヶ月間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。